



ネタを探して三千里(白髪三千丈的誇張表現)

まずはこの絵日記を始めた状況について。

そもそもの始まりは妊娠中の連れが笑える珍プレーを連発したからで、独りで楽しむのも勿体ない、いつかはそれをネタになにか作れないかと思っていました。当時はブログに書いてましたが、文章では思うようには行かず、頓挫しました。

漫画形式も考えましたがコチラも思うようには行かず。

それから一年してガキが保育園に入り連れは職場復帰...と家に一人(老母は居るけど)で居る時間が出来ると、再びムクムクと欲求が頭をもたげてきました。

この一年でガキの行動領域も広がりネタの提供度合いもグンと違います。更に保育園との連絡ノートに描いていた落書きも意外と好評で、これがまたモチベーションをあげてくれました。

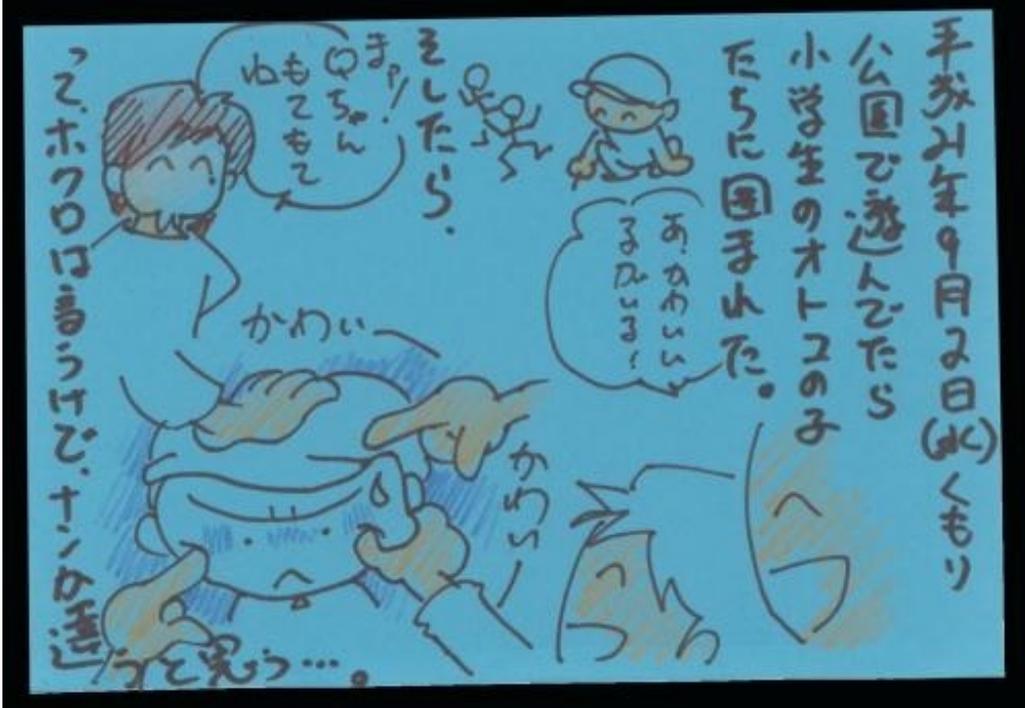
しかし表現形式だけがシックリと来ず、ネタをメモしてばかり。アレコレと思い悩んでいたのですが、ある日突然天啓が...!
「子供に描かせれば良いのだ♪」

(いや、実際の制作はもちろん僕なのですが)

前振りが長くなりましたが、そういう次第でこの絵日記形式を始めました。

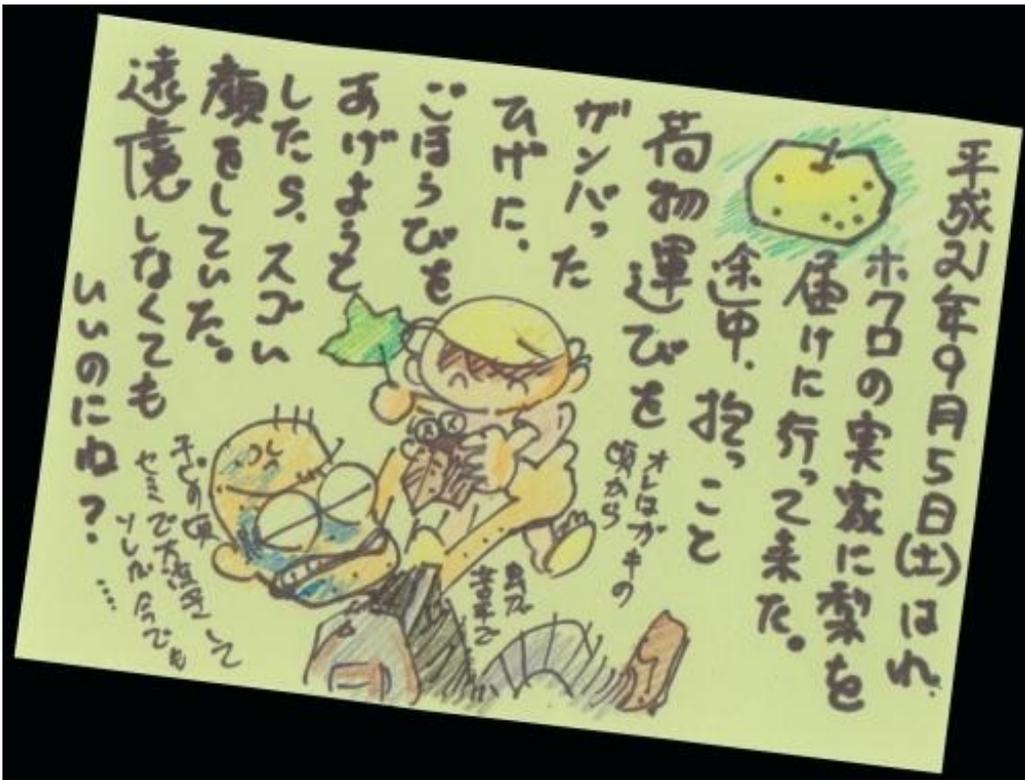
他にやるコトが有るだろう、と不義理をしている皆様にはお詫びの言葉も有りませんが、とりあえずはこんな日々ですと報告も兼ねて。

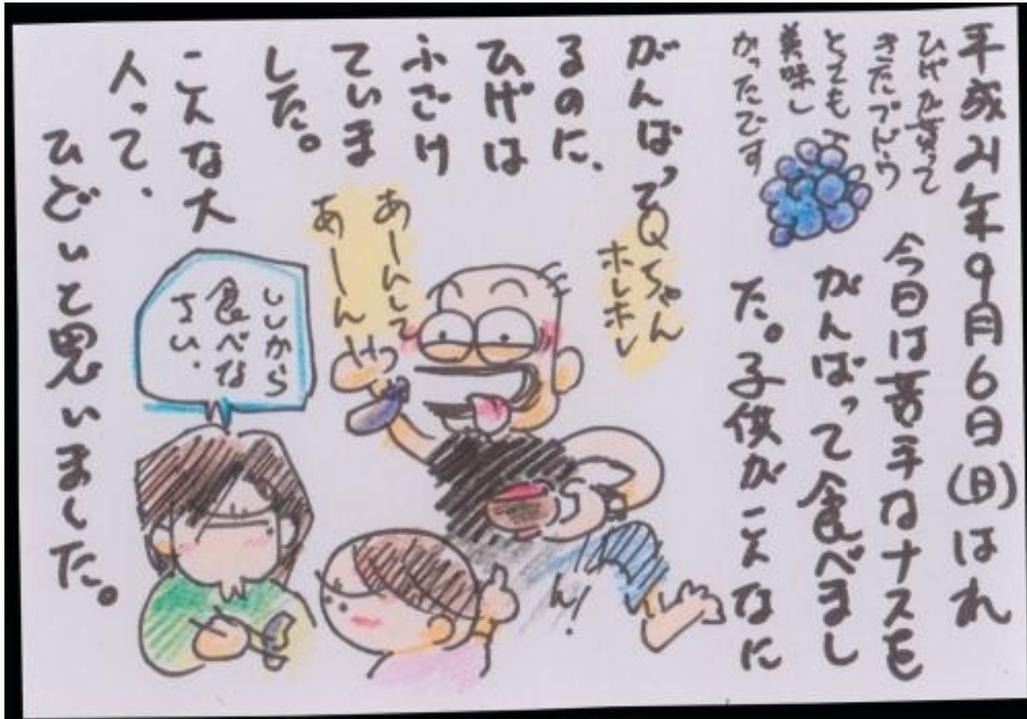




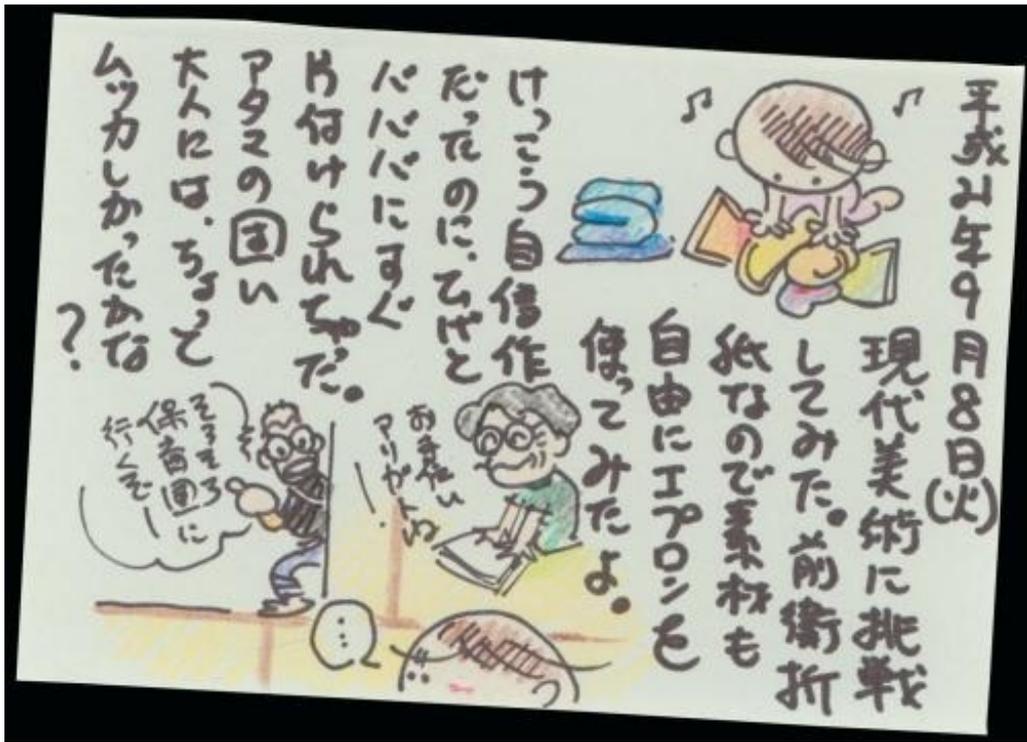






























「高速道路の男たち！」～日記より

20日21日と鴨川に行ってきました。
途中は高速道路を使用したのですが、
まさかの男たちを目撃したのでご紹介。
...汚い話なんで予めご容赦願います。

さて。

まず往路でのこと。
右車線を走りつつも渋滞が始まっており
徐行になりだし、ああ連休だなあなどと
話していた時のこと。
左側に視線を向けたところ青い「俺は
速いぜ」ってな車が路肩に止まっています。
トラブルか、とよく見ると男性が車両の
後方に立っています。反射鏡の付いた
三角のアレを出すでもなく様子がおかしい？

連れが

「吐くんじゃね？」
と言った途端にまるでボタンを押したかの
如くゲロゲロゲロゲロゲロゲロゲロゲロ
ゲロゲロゲロゲロゲ ...。

車内に人影はなく、どうやら彼が運転して
きたようなんです。果たしてナンだったの
やら。
連れは宿酔いだろうと言いますが？

次は夕闇に包まれだした復路でのこと。
料金所を過ぎての合流渋滞にウンザリしつつ
反対の下りはどうか、と目を向けたところ
立ちションしてる男たちを目撃。

中央分離帯のガードレールに向かった白い

シャツがしており、黒いシャツが付き添って
ます。

...バカだなあ。

しばらくすると走り出しました。

オイオイ右車線の更に右って...確かに渋滞の
車を更に追い越してはいるけどさ？

渋滞とはいえ低速で流れており追い付くか
微妙だなあと話していたら、脱力した顔で
歩いているのを見つけました。

さっきはまだ笑顔だったんだけどなあ、ナメて
たんだろうなあ。

しばらく走ると左の路肩に車を止めて外に立って
いる若い女性が2人。多分あの人待ち顔からして
立ちシヨンの連れなんだろうが左側はダメでしょ？
横断出来ないって。

ひとしきり笑わせて貰いました。

ご丁寧に情報案内板に「立入者有 注意」なんて
出ていたので通報されちゃったんでしょうね、
当然ですけど。























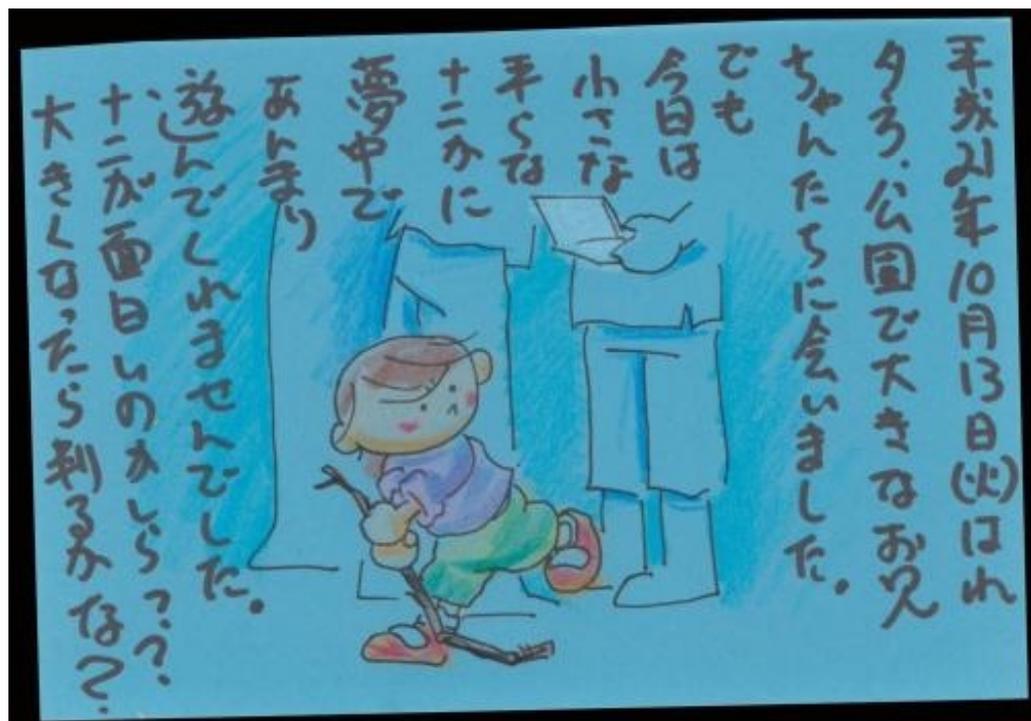










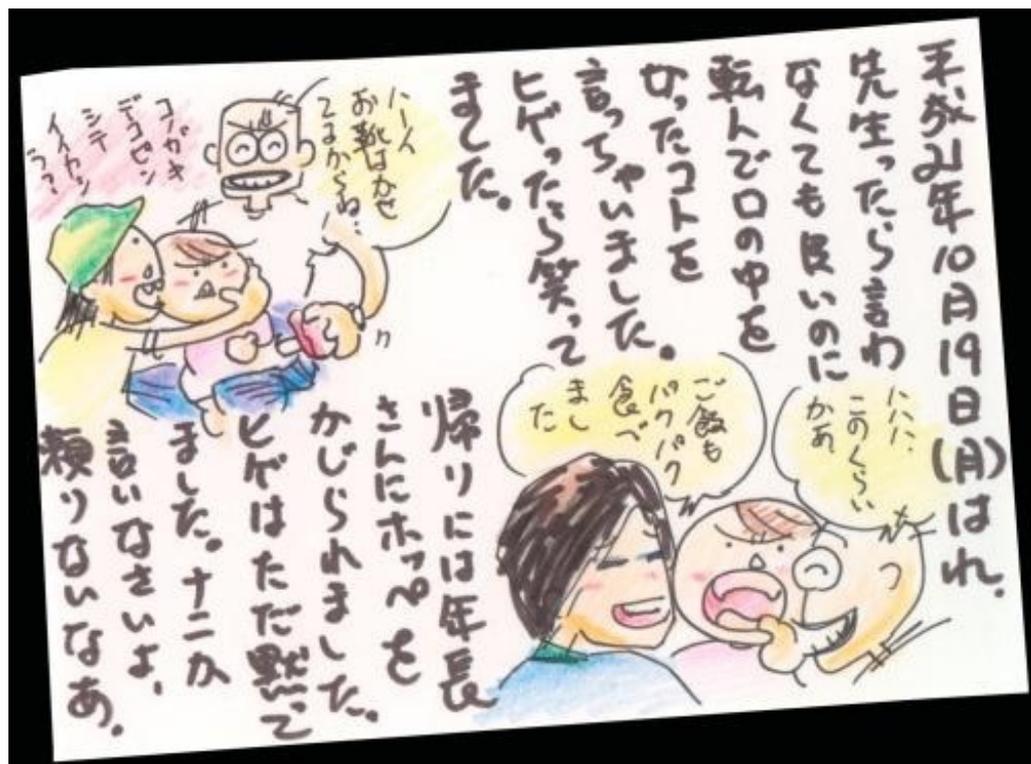








□

































平成21年11月8日(火)はん



平成21年11月8日(火)はん

















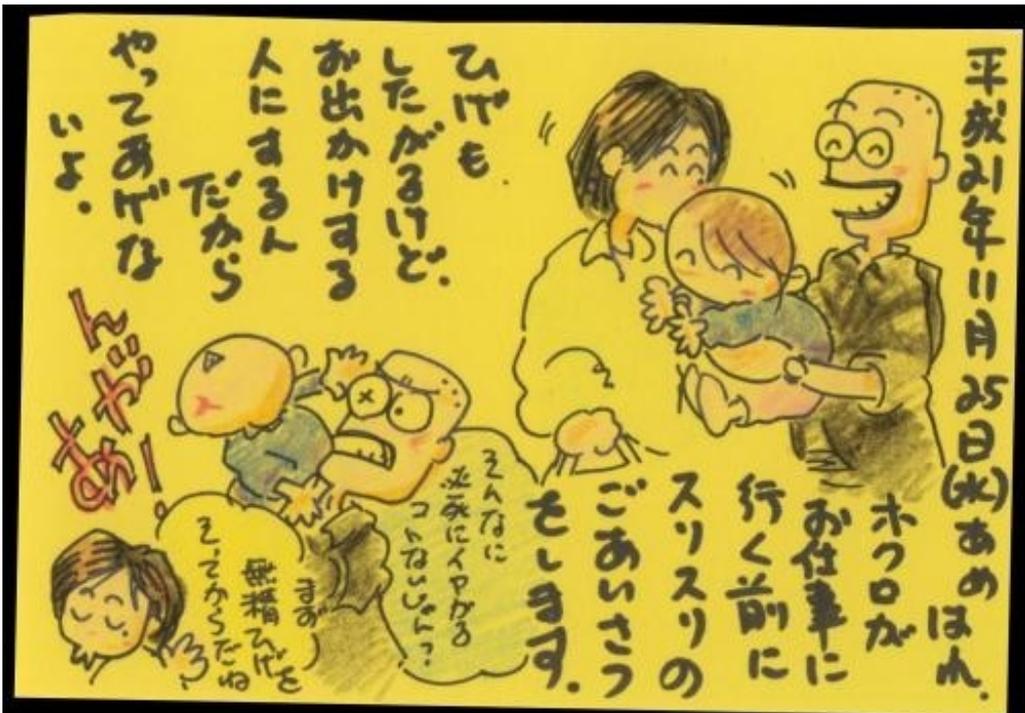






















『Qの絵日記』 vol.1 「一歳秋」

<http://p.booklog.jp/book/1485>

著者 : morikazuiida

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/morikazuiida/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/1485>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/1485>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.